

星軍の威風靡!

風雪ご戰ひ驚異的偉業を樹てた

我皇軍將兵の苦難

動の知うに動しては勝葉自ら歴々たるものがある 際に努力する一方 政治工作を進め省内治安の完成に努めればなられ、若しそれ職内よりする際民軍の機械解實力行應でましい努力をも高れてはなられ、以上が省職政後出處に至るまでの軍行動の機械である、新くて軍は今後引観後事せる兵站番部際襲道部隊、編奏せる多數の通信が風帯に登受して軍の作戦を容易ならしめた通信諸隊の如き後敬意で同構さた機はればなられ、又以上の如き悪々しき第一線の諸関隊の成功の要慮には変を続行にて完美、機秘敬意で同構さた機はればなられ、又以上の如き悪々しき第一線の諸関隊の成功の要慮には変を続行にて完美、機秘

原部隊の戰功 承徳入城前後の模様

表・確介の勢ひを以て前、郷の色あるを以て川原部隊は装甲 る川原都隊の先演隊は四日 印館車ならで戦の地を突破せら を上方な態東方約二里の 的引鞭う光査隊をもて承継を占領、切 時三十分政態東方約二里の 的引鞭う光査隊をもて承継を占領、切 時三十分政態東方約二里の 的引鞭う光査隊をもて承継を占領、切 は、大変に関する協議をならて承継を占領、切 古北日願を北平街道に向け潰走中のある。なほ正規兵及び領軍は多く

皇軍の威力に驚嘆

わが熱河討伐の迅速な行動に

駐英佛武官から祝電

日方廊に走つたが、その消息不明であった機によって反浦の巨熊変のが徳入城によって反浦の巨熊変に壊亡したが大陰山中を駆撃を持て古北口より河の地域にあったが大陰山中を駆撃を持ちが大陰山中を駆撃を持ちが大陰山中を 湯玉鱗は 北平へ逃走

熱河反滿軍潰走で 迫る北支の大變局 全支への影響甚上

へ長編纂河な攻略せる皇軍なる敵に對モ疾風迷雷一同より 酷寒の類に山地にある優勢 ・英國財子の知

であさころなりことに であるころなりことに である。 で御成功を献し奉る で定並に作戦計畫及びこれ が指導の卓越さ皇軍の精鋭 が指導の卓越さ皇軍の精鋭

職電が郵着してゐるが主なる 「新京電話」計熱作職の成亦

横雪を踏んで突撃

得る性質のものではなく、學践十 地族復が、かくとむごたらしい敗 海によって、海い野さ化した今日 地族復が、かくとむごたらしい敗 北平の壁壁が置いよく・終局に り背反せざるを得ざるにいたらし必然反撃良来諸軍関かして撃敗よ でに蘇聯とてるた熱河の死事をいかうさすることでも、あれほごき 源戦をみることが廉徳される、少能に届いれ、悪いて反張各軍閥の 、製方を變へて、これらの各軍

全米を襲つた金融 恐慌

十五六日頃

準備銀行も遂に

八業

べてゐる 止に決し、一方ニユーヨーク取引所長ホイトニー氏も株式取止に決し、一方ニユーヨーク取引所長ホイトニー氏も株式取『ニユーヨーク四日發』準備銀行は國內銀行筋の引出しに備 主要取引所 引所を休場するものと信ずと述へて休業、莫大な金準備流出防 當分閉鎖

證券及び商品取引所は銀行休業期間閉場する旨發表し 「期間閉場する旨發表した、目ョーク、イリノイ州の銀行休 下のところ外國爲替取引も中止業に伴ひアメリカにおける主要

ニア各州銀行も休業した

同は總統の五分以下に限定される 【シカゴ四日費】イリノイ益州銀行休業よ初め四、五、六の三日間であつたが乗に七世して 【シカゴ四日費】イリノイ益州銀行休業よ初め四、五、六の三日間であつたが乗に七世し の日より開鎖す 休業に決定、八日には開業するが夫れ以後

通貨增七億五千萬

日本の第一線に活躍すること、ない態度に出て、」この意向の下に

「阪口君、

電気五日養】非常時日本の観測 では、大日本圏形金では戦で粉部の では、大日本圏形金では戦で粉部の では、大日本圏形金では、大野部の

積極的活躍

さい 庭寄せに権づけになると、二三人の女中が、愛なくと出来たばかりの京都風の料理屋で、棚盤評判でのこことで、が願のわたりものつ。

あれほごの女が、音を視

原造の自動車が「新玉川」の大原造の自動車が「新玉川」の大

「往生ぎはの悪い奴だな」

インチキ漢(ロ)

新記録を出したこさが準備銀行の「き出すに至つたさ、耐してこの項」五子萬帯を搬出して 製に通貨増加額は七億五千萬帯の「億乗の準備プレデットを市場に吐」みにても過去「運搬 去一週間で二億五千萬帯に速し反」行の情出し過増し各中央銀行は五 出に依るものでシカ に通貨増加額は土壌の土産場に速し反。行の情出し過増し各中央銀行は五 出に依るものでシカ

もなく外輩に無するドル価値を引い、インフェーミュ

の大機能な運動はないもので概ら

あめりか丸、六日午前十

先づ金兌換停止か 軍本位停止の恐れは**9**

特別議會

る。 行恐慌都康の係め派と特別議會を お集せんと集官とた ン四日養」吹船下院

水は愈々撃災の香。

0

如何なる妙技を演じませうや。

脱退諮詢案

ロ閣議で決定

直ちに樞府諮詢手續

つた。何んなら

トルに診察し 職盟への縁切状、

酸に膿を送つた謙信の故事を真

文を事務局提出さ同時に外務省よ



スペップ

の、風筋のなさ、うな実の繋が脱って来たれ。もから、大丈夫だよって、三階に上るさ、もう、阪口 「はツ、はツ。そろ~~心壁にな 織のやうに拭き込んだ離下を適 知ってるんだ。何時舎ったのだ」 新學期の 市寺町鄉小路

發賣元 特約店 釀造元 三、共、葉、品、販、賣、所、日本語一八一 樂品販賣所 おもの四二番 話題の五〇

三畵

研渍酒

り車備的調査を進めてゐるが大陸

支行は安東市で經濟的關係需切な

展介価能管象で地に分割な新設 を調査硬の調査結果に微して製 を調査での調査結果に微して製

中銀の分號 安東背後地に

背後地に分散を設置する意思あ

紅

梶田小兒科醫院 電話ー七〇書店 日季に離けれ合れい蒙古歌の吹き であるが、子供家さへも であるが、子供家さへも であるが、子供家さへも であるが、子供家さへも

と では、 本を動様したり割を集いていていていると、 本を動様したり割を集いて来た兵士等の学者を観響した。 の終一つ見えて、 戸郷に親に近原のの終一つ見えて、 戸郷に親に近原の第一つ見えて、 戸郷に親しい日

可愛い赤峰の子供達

へ城で安堵した

快事である八時

にて川原部隊長と長瀬枝隊長とのため見るかげらなく機変たるものである、こ

即脈は同八時素格器を占領した村内の家様は環

前六時平勝た出養、酸は未明に平泉を建

つての選戦ぶりである、凌源平泉間約二なイ戯は平選戦火選戦、それこそ繁を戦し先を戦し先を戦し機を縁に即つて前戦、離は我が認適に如何さし

日滿國旗を手に

と戯れる

りが川原先連自動車隊は少憩する間もなく最後の

て見ない頑强さであつたが攻を持續し支那軍として

走破し得たことは我が陸軍と山の寒さと有力なる敵と闘つ

にまで落下

に強く行格観と地に一大戦略であった。平地は振動も許さぬが山の冷鏡は平観の寒崎

み、この過より記憶さ休行した大陰山臓が至4月一日午前五時川原部隊自動車隊は一路後週1

城第一報を齎した 山口本社特派員

『永徳にて山口特派員四日發』

十二里その間敵の遺棄した死體 十二里その間敵の遺棄した死體 とより谷間にかけては山 られ路 上より谷間にかけては山 の 野砲及びその弾丸が放り出され敵の退却は如何に狼狼したかを物語つてゐる、ことに主人を失った、敵將の馬が馬具もそのまく 方ち首垂れて敗 戦の憐みを こふ 大景は仁 義に富む皇軍 將兵の涙 そくつた、なほ渡瀬西方十二里除の地脈 將枝は婦人であること短明し

勝麻脈は東側か先脈に下戦、脳帯機脈能ら左側山戦、遊戦戦を盛んに襲し艦艦に抵抗するため

製物でを感んに要し 解説に抵抗するの投下によってこれに 麒麟族も小野

(現したが市館は至々しい人間の死性酸血、足の人域触はのが入域二時間前に平泉を放撃疾患に 表するも宜べなるかなである、三十年前二時平 べき記録で

北田泉特士の故郷は一非年末一地豊に苦もめられてゐるが、我を暗諡も、在滿周駿の賦人た。の大豊災を蒙り、東泊しくの天地県の第一日から南北湍洲の「飢餓に憐まされた上に、更に今

東に今次の養振金が集の社場に出るアンド

でを希望してやまの有様である 他既は老者を駆けて軽戦の必然配 既に三萬の

心配は要られ

本筋 の此本につき確究されるの必勝の打ち方動権があいしくらいを表してあるから極心者でもの必勝の打ち方動権があいしくら

貨

務

所

申込

大

島

E

440

旦目二目相先

慰問義

五 捐 金 募 集

で作今の天津、大連開戦航船に常の手中への天津、大連開戦航船による交通が登続運転されたの

掠奪されて

けさ秦皇島から入港

處受 金 理 方 法 附 額

滿洲日報社事業部、奉天支社、新京支社

口三十銭以上たること

のありとめらゆる方臓な跳眈 一でわるが今臓靴管膜五百

HIGH CLASS

大連市指集町馬目前的 バースミ第22238

五月六月渡

指川泰東園

参照的自由レクホン初生雑、中学

豫約分讓

相當額に達するを待ち、成るべく急速に内務大臣

SUMI

昭和八年三月五日

に傳達し、

の郷土を救 「戦天へ七名は ・ 大は来だを建

ふっ大キャン 田様さらて歴人の 東京山西本願が惟例古川 曹紫(こだ) 一

双葉日曜學校の幼い生徒達も醵

、も義捐金

五日午前十一時

るさ其に非常な無視を呈するもの」さ見られてある 西本願寺僧侶 痘瘡に罹る

客に努めてるる 塚に努めてるる

北西の風晴 予 天 氣

各地の温度

最善の處理方法を委託す

御料理

平

これで邦人患者六名 サイヤージ

信員にあれ

醫学博士治谷創榮

腎臓・血壓及婦人内科肺尖・肋膜及慢性諸病

電話六五六五 掛

入院隨時

× 線完備

肺門淋巴腺炎及费高不良 呼吸器及消化器慢性病

夕屋へ電語が

頭痛にノーシン

毛光は品版本位6

急告

デー」を終了させて頂きます メガネの定を乍遺憾六日限を以て一先ず「めがね 殺倒在庫のレンズ大部分賣畫す程の大好弊店獨特の催「めがねデー」連日御注文 々に十二分の奉仕も致しか ては在庫數も極く僅少とて最早多數の方 評を添うし難有御禮申上ます 御用の方は是非 以八日迄の後

六日迄に 限日六は一デねがめ

源攻撃の我勇士 けさ旅順に四十名ピ 大連に百六十名到着 無念の凱旋

頭飾品

装身冥社

粒 物品

6御用命徒

大連市智城町

分表を表現である。 まさまなり過ぎの人に 华印7万石鹸

ながでは、また北海からの 変がたるもの或は小学の ができるもの或は小学の ができるものがは、また北海からの

新研究法の養表 達し易い は

無法に打つては事味しなく

地方東海岸大震災

修鼻を伝

る東北

神かで今回映歌した七陸和崇儀 生被に勝和口を者は勝朴の職事 生被に勝和口を者は勝朴の職事 生でのき直接先生が手を取 手一手につき直接先生が手を取 一て本が強くなる質様が未分した。 で今回教育した七股和無信

携行用自家發電裝置 ユアサ蕃電池併用

For Light and power

大連出張所製造株式會社

0 交通整理!! 女

白く

0

司 大應市信義町市場 頭痛鉢卷 洋洋行

厚

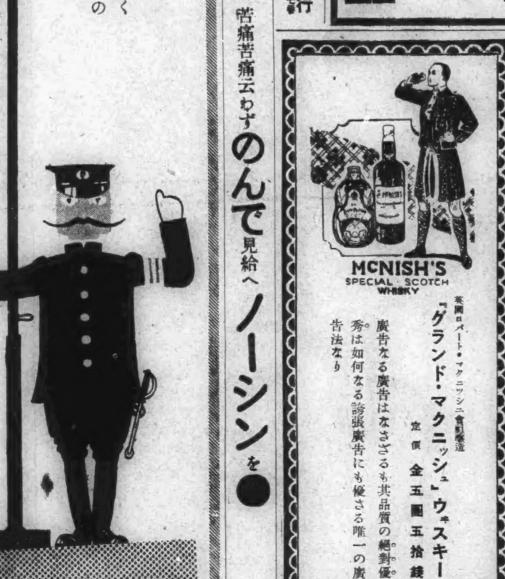
廣

判許とい自面もてと ●●開公舎大でのな 曜活大で演読が優名 平新木高・**小**之龍形月 子智ノキマ・郎三妻東阪

は場

中央から

項固なセキに





泣に戀 前作酶测田線 制作 淳 口阪 女いし夏 曲作ーモラ 詩作夫夢伯佐 宵今のしは美 A大豆二五 曲作ルーア 時作火事伯佐 イワハきし戀 曲作關源全海作十八條西 唱機スリア李 へくゆの月 七四五二五 門大南の戀 全 神作十八條西 けきなだあ 九一四二五 りむけきしとい 曲作 本静 山中 特作十八维西 曲進行京東大 一六四二五 曲作 孝陽 本橋 詩作十八條西 圖 子代予林小 京東スミ

七七四二五

二大百二五

前作一使木々佐 跨作產齡田县

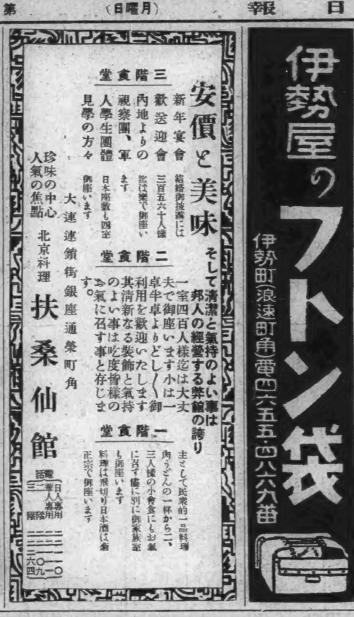
商作一使木々佐 游作十八條西

的作一使木平佐 神作十八條例 鳥り渡の漢

にのく味が鳥小

舟の鞍









へ山へ野てわ訪を花 し樂は春 ――にからがほ ひ粧のプラク





宫內省御用雅 味の業本舗





部険

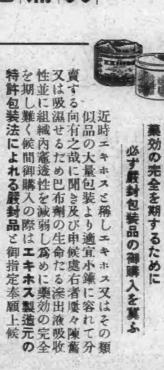
ナニワホテル

ワホテルの特色

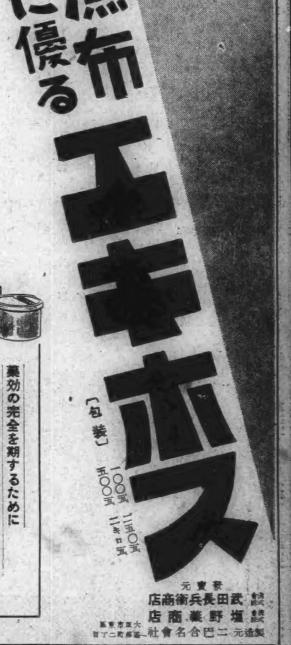
ススー人付付五〇 鉄銭

四四三二周五六七〇〇〇〇会銀服鉄銭

氣管支炎·中耳炎·其他 桃腺 炎·咽 炎·



土揭寫真多照



乾溝鎭に大軍集中

上關内へ

我軍の背面を脅す

長城を越に北進の氣配

た数ける 職に 野 し変験を加へて、方約十五キュ両合東南の線に陣地地

中村部隊

前進開始

林西を占據

高田部隊前

こながら将兵一同無念の歯を食ひしばつた 意に撃じ、常然これが徹底峻離板を除くたり進んで追喚すべきであるが、長城と一歩も越ゆべからず一種味はこれに無戦し是壊を挟んで一時間餘に頭る大戦戦が行はれた神空をに支那里が清減した、米山先遭隊はの監察に延続なる連載を開始し、呼び戦戦を突へ聴診察がら養破された神空に支那里が清減した、米山先遭隊はのに年後零時二十分であつたが、光城軍に難に逃亡した丁輝務郷影路廟軍で國代南方約一里の雑鳥常にたて合戦し、四に午後零時二十分であつた、沈城軍に推送さした丁輝務郷影路廟軍で國代南方約一里の雑鳥常にたて合戦し、四に午後零時二十分であつた、沈城軍に推送さした丁輝務郷影路廟軍で國代南方約一里の雑鳥常にたて合戦し、四に午後零時二十分であつた。沈城軍に推正逃亡した丁輝務郷と路廟軍で國代南方約一里の雑鳥常にたて合戦し、四に午後零時二十分であった。沈城軍に

日

國境冷口を占據

米山先遣部隊が奮戦

長以下緊張裡に徹夜警戒に當つたが響明り御鑿の如くでその後変形兵の襲來しなく無事夜明けさなつたが本日震にり長嫉失道に沿い石門案へ約一千の支那兵輸送されたこの鞭あり昨夜は我が城門警備隊では輝統を以て攻撃し来り、緩いて二郎戦前職に於ても手懶灘を擦帶せる一味が我が警戒線を騒がした事態あり、又に山海鶥五日蒙』四日午後八時九門口西門館千米突附近に悪れた將校民候らしき一隊の支那兵、矢庭に引力曹州州和して

突如我警戒線を攻撃

支那軍の不法行爲頻々

綏中、錦州方面進撃の計畫に

我守備隊嚴重警戒

廿五ケ所に

關を新設

古都承德城

忽ち六版經濟部

丸

著

送定 例八拾錢

滿洲國幣制。大連銀市場

三軍入城を喜ぶ市民

熱河幣の潜送を警戒

闡場に入城 茂木部隊の

五日夕入城

無河に於て支那軍が大敗したのは英國が修禊的態度な採ったからである、今や戦禍は北支に接 の生命財産の保護に任することが出来なくなった、聯盟を半耳ってるる英國は宜しく聯盟の権 版を保持する為め日本に干渉軽 泊を加へその銭鋒を砕かれ度き 旨た英政府さ酸に突渉せよ

世際議所に入場して川野部解は無常、標、宏州等美を傾めた宮殿師へ都 することがあった、難宮外師を流。本たる池に架けられたる石橋、古 大市民は安んじて紫に飲くつうか告、がたれど熱河市街を作戦する十二 さするこ共に省域の治安維持に伊か 「本たる池に架けられたる石橋、古 をするころがあった、難宮外師を流。本たる池に架けられたる石橋、古 をするころがあった、難宮外師を流。本たる池に架けられたる石橋、古 をするころがあった、難宮外師を流。本たる池に架けられたる石橋、古 をするころがあった、難宮外師を流。本たる池、大海病時代の都 を表しのぶには十分である、市街 でたれど繋が市街を作戦する十二 でたれど繋が市街を作戦する十二 を変がられたる石橋、古 でたれど繋が市街を作戦する十二 とするころがあった、難宮外師を流。本たる必大木の間に悠 なころがあった。東京外師を流。本たるのぶには十分である、市街

先遺除

八阪川島常丸者 定信曹武位と』東京帝國文化協會

熱河省北部に

敗血症續出

國務院で對策に腐心

生徒募集業務等等沒有

英學學 學 學

を避け、機能く頃時代するか否か を避け、機能く頃時代で、 では一切時局外交談に渉る

に決議案提出

の研究

特新式關築田多古著

定價金貳圓貳拾錢定價金貳圓貳拾錢

醫學博士高杉新一郎校閱

第四百六十六版大增補改訂

民間療法物理療法

茂木部

英國に縋る

■ 某所入電によれば

から敗 兵を 万面に急追中 に会主中 「高川五日巻」後源住民の謝る處。が最近支那の内脈北支の動揺、無 「高州五日巻」後源住民の謝る處。が最近支那の内脈北支の動揺、無 「高州五日巻」、満洲編々粉院鑑州。 「高州五日巻」、一日

軍は最後の止れてゐるが、

見送りませう

名譽の傷病兵

けさ十時ばいかる丸で凱旋

日赤峰を出鉄南道セリ又松田部隊

凌源附近の

戦況報告

北方兵團南進

『錦州五日**發**』漫瀬に冷鬱せる○ ・一、凌瀬に駐屯にありも支那軍第一・凌瀬に駐屯にありも支那軍第

方面に向けて選走したものである 水で添く腐敗さた為り輸入をに腹を凝し値かの手兵さ地に平泉 もつた蘇聯からの監験と昨年の底を満して変走していとい地方から輸入をいた低いで変して変走したものである 水で添く腐敗さた為り輸入をいたした。

印刷工場 滿洲國政府

紊亂を極めた

戦傷者

井上司令官談

に競り城壁な半週りし親く今次管は四日午後一時半着闕、南

支那軍潰滅の原因

數へられる重大點

關東軍喜多大佐

まり成る淅洲監戒同志食(tx

特派員更に増派

特施した八郎春の外野に一名を帯戯して五日夜 大概大して来たので本語は一層報識の敏速正確を貼するため機に 近づきたりさはいつ、なは顕素良後喉の肺薬は策動中まで戦局離 近づきたりさはいつ、なは顕素良後喉の肺薬は策動中まで戦局離 寫意課員 佐內繁雄

た前続に向け急行せらめました

東京五日教 電車京五日教 電車京五日教 電車京五日教 電車京五日教 にする未曾有の出来事で除りにすることは明瞭な事實である、たく問題、清冽問題に関し来事で除りに強いては迷惑こったには寒さらて海の歌歌につうた寒寒を結合ることを時間を震感にある。とうは、一大な野な変感になる。これを関係を変感になる。これを表現になる。 丁したので近日中に業務を開始する。 新京電話 満洲國總務殿部を見る 福事業の変換に資すること、なっ 間業者の手に変せ以て民間のこの は代も差支ないものは従来漁りは でである。 公報及び政府の機能交替の印刷 於に庭家

醫藥でも治らない難病の方は、 を以て今回大増補改訂に際し新たに加 のなる物理療法、民間療法には がなる療法はれたるもの非常に多 を以て今回之を素人に出來所完して書き加へたの を以て今回之を素人に出來 を以て今回之を素人に出來 を以て今回之を素人に出來 を以て今回之を素人に出來 を以て今回之を素人に出來 を以て今回之を素人に出來 を以て今回之を素人に出來 を以て今回之を素人に出來 の非常に多さ のがなる有 のであります。 御尊影頒布會滿洲支部

弊店を御利用順ひます 一部一般にである。 一部一般にである。 一部一般にである。 一部一般にできますがら、 単一のは、 である。 一部にできますがら、 単一のは、 である。 では、 である。 では、 である。 では、 である。 では、 できますが、 ののでは、 のので **被替大連三一〇四番**

滿洲一手販賣 榮太郎書店

м洲對策同志

大連市聖德街三丁目 電話九五〇七番

米の銀行業務制限

遂に全米に波及

●いつも問題になる極めて眺め

職権な、心める者は何さ見るで、一般所選の路上に散らされた総の

下には寡ら文化、仁愛、 り分化せる) 萬機か總拠 大概を教さしてして、 東下の情報に配う規能するに対数 では、この主外を及び同日 現下の情味に能う想演するに放映で、大概的預全支援の保護の特別権 ら其機的對策を緊急さされてる一般して金崎出票截止を除像な概能目れる六日迄には何れにし、きか親ふ各國金融製物の思惑

米國第三十二代の大統領ル ご二大問題

我國への影響

では続てゐる

押請められたわけであるさ我

堅量 で能低されてるた米

金輸出を禁止せば

輸出入ともに打撃

力點の捉へ所が進つたさ

滿洲中央銀行

樂厚總裁演說襲旨

期業績

米國の悲劇へ

冉禁止までには餘裕

「東京五日登」監察恐慌に職か数 とが金輪禁止に送養成する中に就 ・ 「東京五日登」監察恐慌に職か数 とが金輪禁止に送養成する中に就 ・ 「東京五日登」監察恐慌に職か数 とが金輪禁止に送養成のアメリカの要素の要は被 があるだらう、民理在のアメリカのない。カの外側を禁止を は かからだらう、民理在のアメリカの地 カの外側を かからだらう、民理在のアメリカの地 カの外側を かからだら、民理をのアメリー マンカリ出の途地移きも地全高値

ゆ

る印文房具

市以行十五 で6 とは簡単

0.たから、 々なアモが 學術的公 像して、機 ませうから大いに世を浴するこは名札がつけられるここであり

◆これまで不明であつたものもよ 原内も激節内の如く、各植物に充實されることでありませうと

昭和八年三月一日 一、拂込金瓶 新株式一株二付一、拂込期限 昭和八年五月一日 一、拂込期限 昭和八年五月一日 一、拂込如限 昭和八年五月一日

株金拂込公告

南滿洲鐵道株式會社 ◎◎出團

◎日敷一 昭和八年三月

連に一人旅の出来ない方も 連に一人旅の出来ない方も 一連に一人旅の出来ない方も 一連に一人旅の出来ない方も 一連に一人旅の出来ない方も 一連に一人旅の出来ない方も 一連により何等不安もなく組る 一次で、当動車、まず、そ代、チップ、経過 で、当時、まず、条代、チップ、経過 で、当時車、まず、条代、チップ、経過 で、100円で、100 |神政出来寺 ■博りの乗船券選上寺 町七一

來ます 据著大連]七五八番

大連新聞社

のべ州も休業聲明

米四十八州及びコロンピア地區の全部に及んだの州であつたベラウエア州も大勢に抗し難く今夕邀に六日より當一の州であつたベラウエア州も大勢に抗し難く今夕邀に六日より當一の州であったベラウエア州も大勢に抗し難く

金本位制危 わが財界方面の觀測

東京五日会」アメリカの金融器 内の金砂塊の鉄吹金濃藍は緑人部 に供り金砂機と金死艦の現料理つるが、これを共に金の覧上げ流出も目光 製出の前提さはならなくさも悪製がメケエルト氏の野菜知何は盆世 を観れがめるので金の製造を加した。 なんなくさも悪製がボケエルト氏の野菜知何は盆世 を観れがめるので金の製造を出した。 なんなくさも悪製が水ケエルト氏の野菜知何は盆世 を観れがめるので金の製造を出した。 なんなど云で黒色の然臓が光の寒に高くれるが、これを共に金の買上げ流出も目光 製出の前提さはならなくさも悪製が表しました。 なんなんとなるが、これを共に金の買上げ流出も目光 ないできる場合が避り製蔵されるさ云で黒砂の低低さなつてねるが、これを共に金の買上げ流出も目光 ないできる場合が避り製蔵されるさ云で黒砂田できたまた。 今や不可能が到めるので金の製造を制

深井日銀副總裁談

爲香市場は

大連市八年度

取引休止

六日の新智市場(取引な休止する 改た受け避嫌数表困難の関係より 放を受け避嫌数表困難の関係より が市の經營する市 が市の經營する市 を主を経営の総入 般會計豫算

小川市長の説明

アイシャドーが入荷致しました米間コリノス食缸製

九十五錢

浪速町

限を『バツチリ』と御化粧出來る判 高 き

豊富に取揃へました 撰り 抜きの 新柄

老に第一夫を記事 五十七國となり前前度に比ら一萬八國をこれを代権機能上した。斯八國をこれを代権機能上した。斯八國をこれを代権機能上した。斯 百三十一間の増加さなつた

オートゲン、美質散、おほつづらふじ、カンピロン、エモデン、ダウンチリメン、カラニウム、土益、种種傷、中山胃胀薬、イー 、トラシン、アンタゴニン、ヤカタリジン総

大連市但馬町六番地

ウャスキー

ジピエル 荒川泰 高地に開業経験の賞徒に様 内町勝 病 無料・一種の外の質量の含め初れの

110日は 市内の御方は提替大連三大売番で

蒙古人の蒙古を實現

山、開骨及び通識以北無安衡分職 【奉天電話】「「「「「「「「「「「「「「「」」」」」」」、「「「「「「」」」「「「」」」「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「「 歸順兵で 工兵除編成

利によって腕く者さ楽によって臓がられ対でられ、腕きがされい。 切られ対でられ、腕きがされね▲ の手が出ない。

方順海駅が出来 ポリドールコロムビア 郷の御相談に聴じ

▲山内野夫氏(陸軍中将) 同上

##



すなら定評する

リプトン紅茶

が込みの事)

主催

御老人や御婦人の爲に夜行列車には乗ません 育物は多く・徒歩は少なし 育物は多くても豪変有ません解指示の間に阅送り致します

◆聖職デモが能大戦度だが、一人 総だから根末にするさ云ふ理由 似るつれて大連 であります、強つて常様に切響 であります、強つて常様に切響 ø

非必要であるさ思ひます、消滅 こんな壁物的公園が大連にも是ってありませう。

海州巡查試驗 東京

海車棕鯾航空

の勝順原統八首名 を職人せもめて第一大隊の編成を いが満層画正規範に 終り過級来源天北大蟹で工具作業 のいて臨分方法を 削緩中である、もしそれが成功し がも一般中である。もしそれが成功し がも一般である。もしそれが成功し がも一般である。 鐵道線就職 春の

半ゑ

詳細は崇敬會へハガキ又は電話(七九七四番)に御聞合せ下さい。出來、神戸出蒙三日大連著の歌定・田に昇り新聞社経費、三越吳服店、道順郷、千日前等見物日本前一泊《卅一日大阪にて自由解

皇軍の承徳入城で

熱河政治工作開始

東京澤庵多りました

大連市信濃町市場 たの学 からここ のかか。行

所 込

各職員は既に勇躍任地に出發 期計畫の全貌

ホワイトホース

熱河省北部を 興安に移管

いし新品粧化 あ

エバークーリム、ターキー、モダン洗粉 楽人かつら、アイピュー、スタナ洗濯液、 ボワイトハニー、 夢レモンクリーム、 難経 ホワイトハニー、 夢レモンクリーム、 難経

洗濯液、ユキワリミン、戴ノヌカ、ム、麺値、フレクルクリーム、式部ム、ユベラサーネ、艶ノ水、奇妙水

無な保持するの経改線を指するの経改線を指するの経改線を指するの経改線を指するの経改線を指するの経改線を指すしてるる。本て制業以来十月中旬に至る。本で制造成の一般に動作を使すしてる。本で制造の一般に動作を使すしてる。

の難外では一世秋野を利用して

あら

正 徳 段
「キャンド」 ニー五

紅茶の入れ方

てロップにつじ。 匙三杯を茶瓶に入れ鍋をそしぎ暫時 **陶器製茶板に熱傷をそしぎ内部を暖た** 敷摘のラム酒又はブ

總代理店 既嗣リプトン株式會社 オリエンタル貿易商會

のんだ頭の軽い朝

五回 第十 伊勢參拜團員

十日(うらろた)

昨日伏見

間飛行機の軍用化 國熱河を征 軍需品空輸の使命を果して

航空戦史に 一大功績 大概の 出や司令那食職室に

原車場に期付けられたマイク泛集一日は午後零時五分から

河からの

五日来連した秦皇島遊

概より範疇品物送に航空機を使用することは經濟必要とされこの活動の基礎とは水準は四月午前十一時星軍の手に勝し熱河の大半は日歌族の職へるこころと、水準は四月午前十一時星軍の手に勝し熱河の大半は日歌族の職でなる行動でする反日滿軍の挑駁により返に熱河時代の敢行を見、熱電の眺速なる行動に干平方里山火山太古のまゝに纒る勢の國熱河は戦闘は然論完全な道路も進出

以青天白日旗を共に北平張李剛長

治安維持され

ス一計ウンサー

正義の日章旗に

省城承徳蘇る 狼狽のあど歴然たる 壯麗な湯玉麟の住居

各部屋 部屋にはスリーキャツスルの空間 宇旬の概が部屋中に脱野すが水 かぶ郷か味味らた極天順の出層は 都屋は娘女の歌吹なけった板天順の出層は 都屋は娘女の歌吹なけったが水 かぶ郷はんる、慶然たる魅力を山 さば民はいつてゐる、 満

当線州の戦闘司会に

途中車を停めては

敵死體に瞑目合掌

川原部隊武士道の發露

花柳界の稼ぎ高

昨年度に約四百萬圓

つた苦臓の一三百九十六ち丘のここととの食品は一般細により、外科物店へ落ちた昨年中の金高は

東北東海岸大震災

修理專門

西野。 BENEFIT BENEFIT

NEW TOWNS TO SERVICE THE PROPERTY OF THE PROPE

世界各國酒類

食料品

西帽

野子では

運新二二十二五人以

五日の分)

來を物語る

大連獎犬同志會

凌源は開店 外國人宣教師も感謝 る承律入城の實況)秋山中尉(承

知事宛に見舞電 本社が護者に代つて

罹災三縣の

た救恤品内容

四四九九番

に可愛い

東京に天然痘

不山先遺部隊の通譯

"

1

鮮人少年の金振東君

方人さの機能を機能して

野師の診察を受ける 生 ル人へ権能収款場応西 この河三市連大 セガルセ誌●



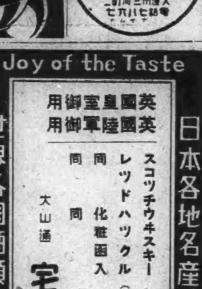


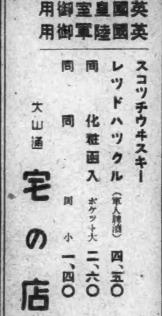


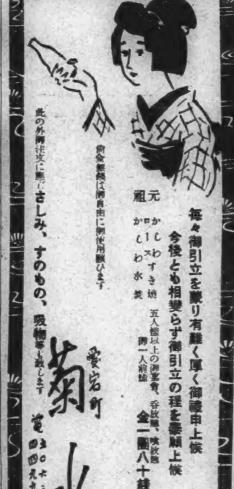














震災被害

内務省の調査

日日費』 内勝省其後の調査 に三陸震災の被歌は五日午 で在左の個く死亡者は一千





避けて出

へを世界が動かをもつて関北に である新州職は日五十年の背叛に 地震を全国出資を授可史服委員 が実際を手間出資を授可史服委員 た、それは後職兵職なごの港派に をおけるはは、 であったこさを説明するは が大本三郎氏が資料調査中費員し

連鎖街の間壁大島屋へ

#00 1111A

中込 三月一日より廿五日迄

・ 重大の折この画案作費申素を開発 するため小器町在郷東人会では同 するため小器町在郷東人会では同

紙風製造の鼻組

巡查廳

園兒募集(五十名限り) 白米變動相場は 西廣場幼稚園















「大石油」 日浦線合議庫軍の殿力 「使り離く帯戯院求師くなき懸鬼 に使り離く帯戯院求師くなき懸鬼 に使り離く帯戯院求師と遂次治安

岫巖に電燈

つけて費ひたい

模擬戦のみは取止め

陸軍記念日に

第一さ共に来演し仮女は大連の事業の主共に来演し仮女は大連の事業の主共に来演し仮女は大連の事業の主共に来演し仮女は大連の事業の主共に来演し仮女は大連の事業の主共に来演し仮女は大連の事業の主共に来演し仮女は大連の事業の主共に来演し仮女は大連の事業のである。一方彼の妹様子(こしも)

部長初巡視

行商人出沒

賃乘車人員

て 主戦を警である 実験が亡夫の

です。

整から出して」

関節を通って、



東大小田原三十分政権 丁樹氏(***)方に二日午後九時頃三 して 大瀬県 東大橋に帰営の際城内大東門に於 りあげるや直に避盗に撃襲りし撃 いてが構運行し来つたバス二部を りあげるや直に避盗に撃撃りし撃 して 大腿の支那人が客を裝つて入り来 して 大腿の支那人が客を装つて入り来 して 安海県 原東では、カカげるや直に避盗に撃撃りし撃 てき はいて派人を脅迫の上継り上げて いに 東手に暴行を加へ更に飛客を脅迫。 就にて家人を脅迫の上継り上げて いに 東手に暴行を加へ更に飛客を脅迫。 就にて家人を脅迫の上継り上げて いに 貫妹の愛に蘇つて 詐欺漢人間に返る 醫學士をめぐつて

兹にも悲劇から

民の飲養部

かよいき触ぶやうに戦前の隣家のより二分ほご連れて所へ入つて来た。さうした。 とり二分ほご連れて席が出た女経の一の一人が、その路次を遡つて除つなってから、 なりにない。 ちょうしょりに、 関家の壁の間みの所へびたり とりに 関係の壁の間みの所へびたり とりに 大き はいました いっぱい こうしゅう から 値

り るだけだつた。さうだ、別に惜い と活が、勝来に選続を繋がつてぬ

ルディ作曲 ルディ作曲 ルディ作曲 京





-







安富敏明

白萬

者の没落

郎作

(高れ物でもした顔で)店へ引出て来ないのな不衡に思って再

鄧りない

成の間から、表の施りが見える というでは素やので、 をいるがへ が見える。 をいるがへ が見える。 をいるがへ が見える。 をいるがへ

り出された兄妹愛物語

發祥の日 積雪行進

生れた人情美談

氣の毒な薬婦 亡夫の實家へ

かに手探りで外雲を求めそれで身かに手探りで外雲を求めそれで身

た、さ彼女はぼんやり考れたって心臓が止った

海と空と

(1,30)

(四)

-山湯崗子中心に

大國立公園設置

鞍山地委當局に要望

靖安游擊隊

顔を剃つて

さて脅迫

の一助さら度ら を相常の施設か施ら日浦人に清 の一助さら度ら

不良賣藥

ち、獣つてボールを見てゐるだけ 出た。他の女絵に動評を念じてか 出た。他の女絵に動評を念じてか

校けばら 送沙

連」の公

京 (編輯東京上で、九番) 文は大阪市 京島、堂ビル四階東京新療法研究 「大阪支部 (振縛大阪五七九九

一方なく子

黑龍江省政府 指定 認可 今井醫

信濃町市場前

發時十前年日四 軍 皇 の 前 直 城 入 徳 承 影撮員派特口山 軍 皇 の 前 直 城 入 徳 承





3

エンジンの響きを立て、承徳に迫るわが

難路を突破して前進する川原先遣部隊た○○隊で房附近から軍旗を先頭に攻撃を開始し 番乗りの勇名を馳せた川原先遣部



北平へ逃走

してゐるが主なる

駐英佛武官から祝電

準備銀行も遂に

主要取引所

當分閉鎖

全米を襲つた金融

恐慌

皇軍の 風雪ご戦ひ驚異的偉業を樹る 我皇軍將兵の苦難

ましい努力をも忘れてはならね、以上が省城府後出版に至るまでの取行さる兵站諸部隊乗道部隊、無湊せる多数の通信な国情に費受して取の作 統治工作を進め省内治安の完成に努めればなられ、若しそれ順内よりする

出さたこまが準備銀行の「き出すに強つたさ、而してこの現し五千萬増加額は七億五千萬飛の「原釈の準備クレデットを市場に吐みにて一に、一億五千萬沸に率し反」行の信出し級権と各中央銀行は五、出に佐衛銀行の金準備破りは過)の報告に依るさ準備銀行各組合銀。金が準備銀行の金準備破りは過)の報告に依るさ準備銀行各組合銀。金が準備銀行の金準備破りは過

你部隊の戰功

皇軍の威力に驚嘆 わが熱河討伐の迅速な行動に

先づ金兌換停止か

「成めかしたもので観であるが、これはた」然に防止すてアメリカの最も必要さてるさころ 一段が全すまてるをいる。 田下 て金本体の

金本位停止の恐れはな

脫退諮詢案

の大體的な變動はないも

 \Diamond

トルに診察して貰うがい、 変金属アメリカが金融機

をやり温暖をみることが像想される、

速によって、海に 地体後が、かくも り放びさるを作ざるにいたらし 殺民衆は最早これ以上學民な支

梶田小兒科醫院 整門

次は彪々製造の番っ

即何なる妙技を優じませうや。

日閣議で決定

直ちに樞府諮詢手續

るばかりた。 職監への経切状、一下

五百字程度の簡単なもので

選甲田を記述すること、なつた

大阪駅界の巨頭島徳氏に都足断 前に瞳を送つた謙信の故事を通

熱河反滿軍潰走で

迫る北支の大變局

全支への影響甚ら

十五六日頃

中銀の分號 安東背後地に

てゐる。「反び商品取引所は銀行休業期間閉場する旨發表した、目下のところ外國爲替取引も中止及び商品取引所は銀行休業期間閉場する旨發表した、目下のところ外國爲替取引も中止ユーヨーク四日發」ニユーヨーク、イリノイ州の銀行休業に伴ひアメリカにおける主要ユーヨーク四日發 引所を体場するものと信ずと述べて体業、莫大な金準備流出防 に、なったが政府さしては右衛門して権所に踏高の手續さを決ましまする性、その他の職僚調査を

紅

日本國粹會 積極的活躍

間は繊維の五分以下に限定される「「金州銀行保管は●め四、五、六の三日間であつたが恵に七日日送保み、シカゴ側は乗倉譲断も四日より開鎖す

主義権領を決定し 間に「従来の治極的態度より被害 の時大日本関係会では後て幹部のの時大日本関係会では後て幹部の 鑑な重れてゐたがこの程軍部態度に出て、」さの意同の下

一時港外着議定

そりしてるた。で間のわた 三人の女中が、愛嬌よく

んだ廊下を通知ってるんだ。何時舎った

御用意は

今一

新學期の 段景の東京東藤西入崎町一ノ七野村 店社 野田で東映者は大夏の高洋路山、希望著は の野田で東映者は大夏の高洋路山、希望著は を借す人手での低さった。 を指す人手での低さった。 を指す人手をした。 を指する。 ない高洋路山、希望著は を指する。 を指する。 を指する。 はなった。 はなった。 はなった。 はない。 はない。

特約店

電話回〇五〇書 一市市

發賣元 匮造元 三共株式會社大連工場 藥品版實所 商□□店店

三番

インチキ漢のひ

理研渍酒 定價 「升数 全一関三十銭 四合数 全六 十〇惡醉、宿醉せず

る背後地に分號を設置する意思め 支行は安東市さ終機的關係密切な

皇軍入城で安堵した

と戯れる

可愛い赤峰の子供達

のやうに恐れ戦いてもた子供達も つてるる、が塚附近には既に戦闘ののやうに恐れ戦いてもた子供達をへも てるた市民選も戦々手をつないで居 だまが続けらぬ声を報ばし 帰来し、娘を観信したり耐を美いて にないで かっぱって来た兵士等の奏者を観からないでは、からの山からないでは、からの山がなって来た兵士等の奏者を観かる。 かいかいでは、彼のの山がないでは、ないのではないのでは、

たりして記事を動選し、機多の日

川原部隊長と長瀬枝隊長との

大阪職はわが入販二時間前に平敷を放業後継に 製造したが市街は皇々しい人間の発生観点。 を指い底しなきほごで潜の薬が変分より際山島が繋が底したが市街は皇々しい人間の発生観点。 を指い底しなきほごで潜の薬が変分より際山島が繋が を擔い底風堂々東門より入城、熱 でする。 でする。 では、一番乗りの名響 を擔い底風堂々東門より入城、熱 では、一番乗りの名響 を擔い底風堂々東門より入城、熱 では、一番乗りの名響 を擔い底風である。 三日午前二時平 では、一番乗りの名響 を増い底して、省域内は人心 なった、省域内は人心

す他はで選奨又選減、それこそ葉を働し先を発標系統に向つて前進、敵は我が急退に如何さも

は高く日

日滿國旗を手に

部隊長が百武大尉の県敵なる行跡を口を構めて

も驚異すべき記錄である

山の窓さと有力なる敵

際にまで落下

一を支に上上に至り 場出 登後のこので追 ひ散らし朝 陽出 登後のこのの間それこそ飲まず、食はずに散の間それこそ飲まず、食はずに散のを追ぶてごと無変なる大行動の裏には自然○○自動車を指揮して二晝夜の間それこそ飲まず、食はずに散して、川頂部隊の裏には自然○○自動車隊の最上無数なる大行動の裏には自然○○自動車隊の最上無数なると

一間に断ら一人間 海豚の町に居残ると 大機の銀銀の単石 る事さなつた、日本人はされてゐるが、餘り水 り三十個を支給して一

郷天へ七名は

西本願寺僧侶

るもの。こ見られてゐる

卸

A

痘瘡に罹る

これで邦人患者六名

動の裏には百武〇〇自動車隊の最も勇敢なる

と難民が便来來連

たが野難民代表演

東皇島居住那人三十名 一時入港の獨選船ネッ

は一先づ解散

けさ泰皇島から入港

によってこれに慰し

られ路上より谷間にかけては山は全く算なく雪ぁ氷も朱に染め十二里その間敵の遺棄した死體 乗りとして入城した に従軍と、永徳一番 に従軍と、永徳一番 に従軍と、永徳一番 本社山口特派 电な希望してやまの有機である 住民は老者を繋げて息軍の永久社 恢復は都人行はれ、翻 既に三萬の

野砲及びその弾丸が放れ路上より谷間にかけ 苦力來滿

|水徳にて山口特派異四日致|

間は想像も許さのが山の冷頼は平原の主要よ

語つてゐる、ことに主の退却は如何に狠狠

でとに主人を失何に狼 狙したか

一名の將校は婦人であることが、内で上京主時派にて「戦帝三名を御殿さらたが、内で上京主時派にて「戦帝三名を御殿さらたが、内で上京主時派にて「戦略の場」として、戦将の馬が馬具もそのまいった。戦将の馬が馬具もそのまい

別に心臓ないもので見られるに

その後被黙各地よりの観告は一級低に機構の能断ない。これ等同態の資源に続する大権窓の報一度解はるこれ等同態の資源に続する大権窓の報一度解はるこれが、作人の後被黙各地よりの観告は一級低に機構の能断ない。

く御殿念、蔵に帰近者より被禁決況等の詳細を削削収許でされるされに、罹るや公園各地の関係は職然さして同地方民に撃まり、又長くも、鬼童におか火災並に往早の三艘大振蔵の樹橋を能はしむるものがある。

一石 なスツカリ智へは「鬼に帰るで綿厳してわる

の此本につき研究される

貸

務

所

島

20

からなる

西

製造株式會

連載人員實に三千を組え、また家屋財物の流亡焼失二萬月の多き として全國民に痛刻なる衝撃を與へたが、として全國民に痛刻なる衝撃を與へたが、 捐金募集

精力で今回発費した七股加強・東京 阿佐ケ谷五二四番地層

Porta Power" Dynamo For Light and power

岸大震災

をおけれては、本でいるが、大田志のでいるから子供でも本版を踏べては あるから子供でも本版を踏べて他のでいるがの方がのではながなれるが、大田志のではないというのでいるがのできない。

上達し易い

携行用自家發電裝置 ユアサ蓄電池併用

むる東北

堺奪 されて し來る 問金を普く募集すべく、茲にその是れ我社が在留同胞諸君に做しての實際であるで値でる。

趣旨及び要項を發表する所以である。 て、 今夫東北、 北海道等の大震災地方に對する慰

口三十銭以上たること

滿洲日報社事業部、奉天支社、新京支社

UMI

HIGH CLASS

大連市法濃町馬器前的
バースミ 考22238

豫約分讓

1. 7 九拾八錢 雄二 1. 7 九拾八錢 雄二

指川泰東園

召賞額に達するを待ち、成るべく急速に内務大臣 停進し、 最善の處理方法を委託す

洲 日

昭和八年三月五日

人の郷土を救 ・も義捐金

東山西本職の僧侶古川豊富(か)

サイヤージ 一付お献しあれ一番早く效 ハタケい人さんなまづ等に 女 パイン かあり僧三十様五十様一脚

肺門淋巴腺炎及幾高不良呼吸器及消化器慢性病

は日時本位の

ク屋へ電売が

信日見にちれ 東京市東西 東洋重信型 東京市東西 東洋重信型 東京市東西 東洋重信型

醫学博士 监 谷 創 榮

西公園即春日小学校前

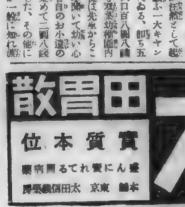
X線完備

腎臟· 血壓及婦人內科 肺尖· 肋膜及慢性諸病

・頭痛・ノーシン・

●と、在満間腹の慰人た の大電光を誇り、戦れんへの天災 に出るや、在通 の第一日から南北滿洲の 飢餓に悩まされた上に、既に今大 の養損金素集の 双葉日曜學校の幼い生徒達も醵

日の午前中に既に の気の変な人の話 めて二個八級 のお小選の かて二個八級



¥ 天間 一 新京間 新農州間 ○ 禁口間 新農州間 一 新京間 各地の温度

解除に収容された。これで大連に 郷際に収容された。これで大連に 水容された。これで大連に 名に上り絵々優病者織出の模様で

医源攻撃の我勇士

けさ旅順に四十名と

大連に百六十名到着

し無念の凱旋

北西の風暗 予

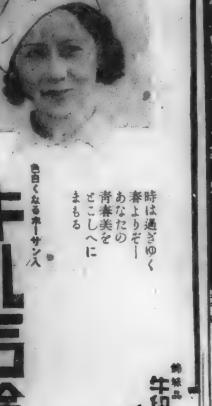
御禮

急告

デー」を終了させて頂きます。メガネの定を乍遺憾六日限を以て一先ず「めがね 許を忝うし難有御禮甲上ます 殺倒在庫のレンズ大部分賣畫す程の大好 弊店獨特の催「めがねデー」連日御注文 々に十二分の本仕も致しかれ八日迄の像 ては在庫敷の極く僅少とて 最早多數の方 六日迄に 就

限日六は一デねがめ 近 行

頭飾品 装身果作粉品。御用命 松井小間物店 大連市智城田







EEH-H

七七四二五

二六四二五

大四五二五

人大五二五

七四五二五

九一四二五

一六四二五

唱册子女家园

唱獨子女家圖

唱媚夫正图票

于玄家国

山 横

ŔŔ

頭痛絲卷

倉紗

司

大型市信息可应。

洋洋行



曲作一後木々佐 時作麼幹田具 類の鳥

附作一使木々佐 神作十八條西

順の子り頭

曲作一雙木々佐 诗作意幹田县

にのく時が高小

邮作一使木4佐 静作十八條西

順舟の秋

前作一幢水々佐 诗作十八條面 鳥り渡の涙

く泣に無

曲作轉義團網 舖作 淳 口骽

女いし衷

動作一款 東阪 詩作師 義崎西

画作ーモラ 詩作決孝伯佐 寄今のしは美

曲作ループ 跡作大事伯佐 イワハきし戀。

關作 鹏 章 全 游作十八族西 へくゆの月

門大南の機

作 騎 嘉 全 赫作七八條圈 けさなだる

りむけきしとい

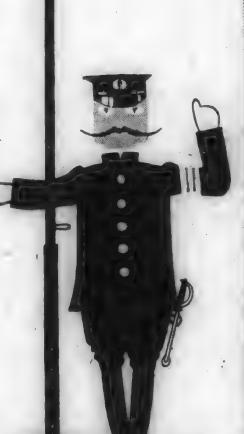
創作 平書 山中 詩作十八條例

前作 唐國 本稿 時作十八條西 東東スを

曲進行東京大

行 流行歌です カコ

くのはど ク 面白 夕 0





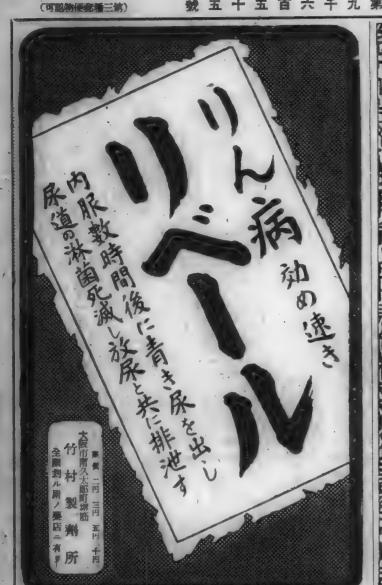


項目なセキに

判許とい白面もでと ●●開公舎大でのな 曜活大で演競が優名 平新木高・介之龍形月

映画は中央

歌 0 交 通 整理!!



宫內省御用灣

味の奏本舗 鈴木 商

店

安信と主になる。

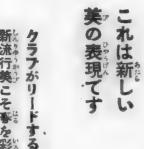
「大学」

「 伊勢町(浪速町角) 電四六五五・四

(日曜月)

へ山へ野てね訪を花 し樂は春 ---にからがほ ひ粧のプラク





クラブがリードする 33年の 新流行美こそ春を彩る近代麗色









ナニワホテル

周一五銭 二圓七〇銭 三圓一五銭 三圓六〇銭 代表一十一六四番

ワホテルの特色



水軍の背面を脅す

長城を越に北進の氣配

下緊張裡に徹夜警戒に當つたが零明り重蓋の如くてその後変形兵の襲來もなくり鼠療養難に沿め石門寨へ約一千の支那兵輸送されたさの職あり昨夜は我が以て攻撃し来り、観いて二郎順前廊に於ても手標頭を機器せる一腕が我が警戒線を協五日衰。四日年後八時九四日西門街干米院附近に求れて署相月也として、

【山海■にて島田特派

異四日發』でが

錦州方面進

我守備隊嚴重警戒

方面の容氣は

おはなった。

林西を占地

わるのを手にとる如く見ることが出來る。このため山海鷹方徹の人力は即下七萬主職でられる、江港の各部家は全部兵舎に充てられ、山海艦の頻繁に立つて

投警戒線を攻撃

にこれを應援すべく于學忠指揮下の灤河以西の部隊も緩を無中、錦州等までも占領すべく作戰計畫を練りこれに触って職の第立ち、何能層を締め繁融能等は達日飲食して山海關の奪回及び目下熱河、二、三日中が最も危しき感はれるにいたつた、飢ちこ、戦日本海洋戦に係る

双山子に 三百の敵丘

城門警備隊では真田の

線に向つて

け、膨脹によれば乾燥鏡附近にはは昨四日向地を出養前進を開始せ 勝外に向け蜘蛛の子を散し、奉天電話・陽東軍司会報 ついある動を追撃 赤峰に入城

鎌て松中に待機しあり!

前進開始

中村部隊

での整備を終り茂木部隊の後を 一次の整備を終り茂木部隊の後を

川原部隊

武士道の發露

瞑目合掌

めては

に脳部部線方面の影視左右日登』昨四日の空中値

敵の死

本の入癒を整び合 機はり野線高、凌南附近には死性 一般である。この凌雨進撃にわが私山 では五、六百等版型の脚では近れてる酸の東道甲駅、山脈上等兵は名 をの映像を負ふた、なほ米山長線 には五、六百等版型の脚ではな地である。この凌雨進撃にわが私山 である。この凌雨進撃にわが私山 である。この凌雨進撃にわが私山 である。この凌雨進撃にわが私山 である。この凌雨進撃にわが私山 である。この凌雨進撃にわが私山 である。この凌雨進撃にわが私山 である。この凌雨進撃にわが私山 である。この凌雨が上げる日道 できた死機を起こさは敵ながらし武士道に あらすさしてこれを丁寧に路佐に できけ路を開いて突進した。

天津軍司令官

東京特電五日盤】 電話院各派有 京甲の原谷な天棚談前頭には下上 京甲の原谷な天棚談前頭には下上 京甲の原谷な天棚談前頭、田邊元 京甲の原谷な天棚談前頭、田邊元 京甲の原谷な天棚談前頭、田邊元

印刷工場政府

にこのたび武藤関東軍司令官宛左の感謝電を養

座相軍司令官へ

長

三軍入城を喜ぶ市民

軍人城を衝散して双手をあげて遊跡治を欲求してゐる省級民は 井上司令官談

戦闘司令所を設

長

除価整々赤峰に

られる重大點 0

忽ち六版

經滿洲日報

富丸基

滿洲國幣制一大連銀市場

崔興武皇

行きなべに入废。 大八四順に輸送を 大八四順に輸送を 大八四順に輸送を 大八四順に輸送 大八四順に輸送

し赤峰に入城

北方兵團南進

松田部隊 の先濱部隊は衝域に入城した茂木大電話一新峰に入城した茂木

「電弧に抵抗かち」 ▲ 真傷 関第〇〇 職職堂中財 | 「電流に配流度相談 | 「電流に配流度相談 | 「電流に配流度相談 | 「電流に配流度相談 | 「電流に配流度相談 | 「電流に取ぶ度相談の撮影左の如し | 「電流に抵抗かち | 「電流に対抗かち | 「電流に対抗かち | 「電流に対抗が | 「電流に対が | 「電流に対抗が | 「電流に対

米山部隊 者

【新京電話】北方兵側の北方は四日赤峰を出鉄南道セリス松田部隊

軍艦派遣 ◇─海軍省發表

於に庭家 意

榮太郞書店 **電話九五〇七書** 大速市聖德街三丁目 报替大連三一〇四番

滿洲一手販賣

醫藥でも治らない難病の方は、 を望する前に先づ本書を御覧なるか。 を以て今回大増補改訂に際し新たに加 を以て今回之を素人に出來別名 を以て今回之を素人に出來易い を以て今回之を素人に出來易い

の研究 民間療法物理療法 特務大尉築田多古著 醫學博士高杉新一郎 校 閱

第四百六十六版大增補改訂

うてゐるさい か前級に向け急行せらめました 特派した八郎者の外更に一名な事政・大概大して来たので本談は一層報道 特派員更に増派 て来たので本社は一層報道の観選正職な郷でるため裏にりさはいへ、なほ襲撃民使験の職業は震動でまで戦時候に入職と独河系の大学わが戦風に聞きて縁呼事深完成に 寫其課員 佐內繁雄

關東軍喜多大佐

滿洲日報社

た 門に記り振監な半週りし続く今次 『ても折黙しく天候不良で寒いただ。 第の演響を慰め夫れより〇〇隊を たものだ、後方に在つて終去の に適ぐるものはない。これで 一部隊に終着したが指検皇軍政徳、 和に適ぐるものはない。これで が破事を歌し訪問すれて衝突を言 にも自ら期する所の製論あるべ みつい締る みつい締る そつい締る ここと そのいたといの にも自ら期する所の製論あるべ とお互びに成行を辞観するここ とお互びに成行を辞観するここ とお互びに成行を辞観するここ といた。 といた。 といた。 とが直びに成行を辞観するここ といた。 といた。 といた。 といるとのはない。これで をいた。 とが直がしまり、 とが直がしまり、 とが直びに成行を辞観するここ といた。 といた。 といた。 といた。 といるとのはない。これで をいた。 とが直がしまり、 とがしまり、 とがしまり、 といるとのはない。これで をいた。 とがしまり、 とがしまり、 とがして、 とがして、 とがしまり、 とがした。 といるとのはない。これで とがして、 とがして、 とがして、 とがして、 とがした。 といるとのはない。これで といるとのはない。これで といるとのはない。これで といるとのはない。これで といるとのはない。これで といるとのはない。これで といるとのはない。これで といるとのと、 といるとのと、 といるとのと、 といるとのと、 といるとのと、 といるとのと、 といるとのと、 といると、 といる

八版川島富丸沿座頂意画式投資を発行所

生徒募集業文章等

完 價金 貳圓 貳拾錢 定 價金 貳圓 貳拾錢

弊店を御利用願います の書、雑誌、文房具、運動具 のできますから學用品は

大^速 混川

御尊影頒布會滿洲支部樂太郎書店取扱 ボ各メ金 タック銀 ・検ル七 カ明教変 プ東軍入

米四十八州及びコロンピア地區の全部に及んだ分銀行休業を實施する冒聲明した、これで銀行業務の制限は遂に全一の州であつたベラウエア州も大勢に抗し難く今夕遂に六日より當【ウヰルミントン四日發】米國四十八州中銀行業務を制限しない唯

、モ勿識大量成だが、一人 総だから観束にするさ云ふ尋由

各権物には

◆旅順後樂館の温金

は極いな事界

又は市めたりで、えな能量を一

內地巡查式啟翻

神老人や御婦人御子供。 「他職により何等不安もなく頗る 安心して伊勢神宮。神社佛脳参拝を 安心して伊勢神宮。神社佛脳参拝を 変心して伊勢神宮。神社佛脳参拝を 変心して伊勢神宮。神社佛脳参拝を 変心して伊勢神宮。神社佛脳参拝を 変心して伊勢神宮。神社佛脳参拝を 変心して伊勢神宮。神社佛脳参拝を

大速新聞社

機動等は要性で大連出鉄&十二、北下、 一部を人や御婦人の属に夜行列車には乗ません 一等・乗物は多く・徒歩は少なし 一等・乗物は多く・徒歩は少なし 一等・乗物は多く・徒歩は少なし 一等・乗物は多く・徒歩は少なし 一等・乗物は多く・徒歩は少なし

ります、强つて階層に切塞

學術的公園

ませうから大いに世を益する

海軍紫顯航空

東京池袋帝嗣航空県大阪海軍池鎮着江本倉に申込

南滿洲鐵道株式會社

① 日敷

金本位制危

岸大震災

限を『パツチリ』と御化粧出來る評判高き

豊富に取揃へました

半ゑり

アイシャドーが入荷致しました米間コリノスを丘製

一個 九十五銭

浪速町 今

されてるた米

我國への影響

紐育州に波及

ため健闘する東北健見をして後順の憂ひなからしむるやう努めることは、許々問題でし

を受けまして同情感間の意を表し、併せて邦家とさ、歌等な過三十萬間職の、同地方歌道に共用歌記に乗って東って東って東る大なる貢献を致したものは、に乗って東も大なる貢献を致したものは、た際つる歌手もの遊さにあるが、 耐・輸って日本帝國の

東京澤庵参りました

信濃町市場 信濃町市場

込

率率搬速大者信漢病 石挑濃速 天天順陽橋町町町町

元は洋ルニニの九九

高速山 吐金螺 可新途

金輸出を禁止せば 輸出入ともに打

國會議事堂で 宣誓式舉行

ル氏大統領に就任

及 健身家正面大理群の大階段上のア 海軍々業隊の関航吹奏機に大条隊、大統領に就任した、武場たる國會 トホーム中央に立つた著大統領は大統領に就任した、武場たる國會 トホーム中央に立つた著大統領は

る印文房具

切られ封ざられ、吹きがされぬ▲

水洋で

つの支那側の後方機

期業績



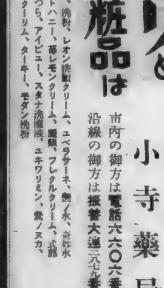


* 定評する

#

洗濯液、ユキワリミン、焦ノヌカ、ふ、塩碱、フレクルクリーム、煮都

たり口は 市内の御方は電話六六〇六番へ 沿線の御方は振替大選三元元香で



相當額に達するを待ち、 滿洲日報社事業部、奉天支社、新京支社 成るべく急速に内務大臣

口三十銭以上たること



トラン、アイマー、トラシン、アンタゴニン、ヤカタリジン錠 オートゲン、美質散、おほつづらふご、カンピロン、ヱモヂン、レダウンチリメン、カラニウム、土疹、桝巡漏、中山胃肺薬、イール

大連市但馬町六番地

昭和八年三月五日

に傳達し、最善の處理方法を委託す

数にその趣旨及び要項を發表する所以である。 君に**做**して、 今來東北、 北海道等の大震災地方に對する慰

いし新 品粧化









紅茶の入れ方 リプトン紅茶(講話:微

陶器製茶瓶に熱湯をそしぎ内部を暖た め、さめたる湯を捨てり プトン紅茶茶

匙三杯を茶瓶に入れ鍋をそしぎ暫時し てロップにつぐ。数滴のラム酒又はブ ランデーを入るれば其薫亦妙。

總代理店 明朝リプトン株式食社 オリヱンタル貿易商会

数 正 修 股 (中ボンド) ニ・一五 (中ボンド) ニ・一五

のんだ頭の翻

五回伊勢參拜團員 纂

関構込みの事)

に若い歴史鑑力 放き云ふもの 際して、機 では、全様では、全様では、 をできれることでありませっした。 できれることでありませっした。 できれることでありまた。 できれることでありまた。 できれることでありまた。 できれることでありまた。 できれることでありまた。 できれることでありまた。 できれるできれるできれるできない。 できれるできない。 できれるできない。 できれるできない。 できれるできない。 できれるできない。 できない。 できなない。 できない。 できない。 できない。 できない。 できなない。 できなない。 できなない。 できなない がちよかつたし、我々には本書

四和八年三月1日 一、拂込金額 新株式一株二付一、拂込如限 昭和八年五月一日一、拂込如限 昭和八年五月一日

林金封込么告

地久節の御祝

◎出發費

金百十八圓(電込で同時に金二十圓排込みの事) 一十五日間 (締切八日)

軍需品空輸の使命を果して

送がわつた

止義の日章旗に 省城承徳蘇る 狼狽のあど歴然たる 壯麗な湯玉麟の住居

が一般により、車子、棒子、地側、動がころくしころがつて居るのみで、本て見れば矢張り滅が、大地上し、自然形内の各部屋、路底にはスリーキャッスルの空籠、字側の機が部屋中に輝いましむ。四日聴力時主力部隊 め無河な時殿もた郷芸殿の住居は、都屋は泥炭の瓢臭を物で、大坂に外四日聴力時主力部隊 め無河な時殿もた郷芸殿の住居は 部屋は泥炭の瓢臭を物で、後進五日登』郷玉殿は泉東が桜 かく飛ばれる、際然たる魅力を占 さば民はいつてゐる。

れてある、入城の際にはフランス かれてある、入城の際にはフランス 治安維持され 外國人宣教師も感謝

正な軍嫌によ「四百八十三名で統計上権少を示して、大城後の権民」後三昧現在立の如したは着は一千

によれば三陸震災の検索は五日午 震災被害 張學良へ密通する

東京に天然痘 クを通じ

國賊?毒瓦斯屋

主は即ち島徳さん



國賊を倒せ

國粹大衆黨騒ぐ

學良へ軍用 積込船の航海阻止 車供給 工場

日防疫課長も出職権診の結果を受けて 十七日要無と野師の診察を受けて もたが原西不書の爲め四日久松署に属出で小川警察會が診聴更に井

◇地久節に母の會 の感謝

女典のた意大

of the Taste

大山通

店

五日の分)

東北東海岸大震災

大功績

郷氏を食長さす

大連愛犬同志會 **化树着代表** 學兵中間 月村城

知事宛に見舞

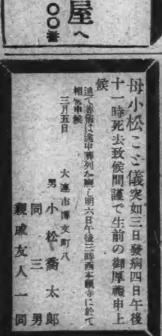
達水上既沙糠県納會のスケ

納會

本社が讀者に代つ

白米變動相場は 連鎖街の間壁大島屋へ #001111#

昨日伏見臺で





紅風製造の鼻組

園







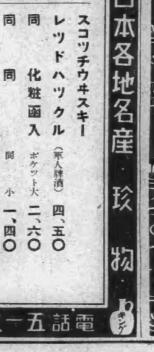


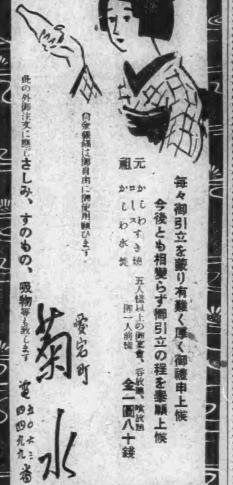




修理專門









旅順の催し

陸軍記念日に

山湯崗子中心に

人國立公園設置

鞍山地委當局に要望

の一助さし度し

「墨大」三日午後五時三十分頃端 丁楊氏(三万に二日午省カ田はことで車せらめ各自帯館を以て車家選 然にて家人を脅迫の上継り上げていたが東大鷲に踏籃の際城内大東門に於 りおげるや底に鑑査に早盛りと学 て続いてが続連行し来つたバス二番を りあげるや底に鑑査に早盛りと学 て続いてが続きに撃歩りをする。 「大概の支那人が客を装つて入り来 して続き、
「大概の支那人が客を装つて入り来 して続き、
「大概の支那人が客を装つて入り来 して続き、
「大概の支那人が客を装つて入り来 して
「大概の支那人が客を装つて入り来 して
「大概の支那人が客を装つています。」

職をめ、山脈さも、石川・徳次氏就任もた、尚新年度には、大人が長卿手洗うめる看の後任には經理縣決奪係地位高され、前教護班の織成は左の年度支出業棄を左の通り決定、一た同教護班の織成は左の年度支出業棄を左の通り決定、一た同教護班の織成は左の年度支出業棄を左の通り決定、一た同教護班の織の機会である。

發祥の日

詐欺漢人間に返る 醫學士をめぐつて 弦にも悲劇から り出された兄妹愛物語

氣の毒な寡婦 亡夫の實家へ





特約店募

黑龍江省政府指定認可 开醫院

哈爾濱道裡地段街三三(電話四〇〇二)

同汽車

11

放け送?

安富數明

另生殖

海と空というの

登場上前年日四軍皇の前直城入徳承





(4) 承徳一番乗りの勇名を馳せた川原先遣部(2) 雑路を突破して前進する川原先遣部隊た) 雑路を突破して前進する川原先遣部隊に外撃を開近の激戦三月四日午前十時 エンジンの響きを立て、承徳に迫るわが

明

(4) 凌源を通過し平泉に向ふ川原先遣

寫

(1) 百武大尉(中央の率ある名譽の第○ ○○自動車隊員

|3||渡河前進する川原先遣隊 (2) 平房高地から敵情を視察する長瀬 部隊長(左端)



